

令和 6 年 6 月 15 日現在

機関番号：14403

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2020～2023

課題番号：20K00369

研究課題名（和文）戦火とモダン 日中戦争時期重慶の文化芸術における表現様式の研究

研究課題名（英文）War and Modernity: A Study of Expressive Styles in the Culture and Arts of Chongqing during the Sino-Japanese War

研究代表者

中野 知洋（Nakano, Tomohiro）

大阪教育大学・教育学部・教授

研究者番号：70372638

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,000,000円

研究成果の概要（和文）：コロナ禍と重なり現地調査が一度も実施できないという特殊な状況ではあったが、日中戦争時期の重慶を中心として、共同研究者がそれぞれ自らの研究テーマを持ち寄って発表する形の研究例会を定期的開催した。年に2回というペースは、概ね守ることができた。  
日中戦争初期における葉浅予の抗日漫画研究、徐Xu・無名氏といった通俗小説、王平陵を中心とする国民党系の民族主義小説、重慶北郊の北碚地区における路Ling等の作家活動、同地区において刊行された雑誌『北碚月刊』の紹介等、多岐にわたる。

研究成果の学術的意義や社会的意義

東アジアの中でも中華圏が独自の経済発展を遂げ、存在感を示す一方で、中国とその周辺の地域との文化摩擦が取り沙汰されることも多い。中台関係に代表される今日的な問題の解決を模索しようとする際、それらの問題の根源が、日中戦争時期から国共内戦時期にかけて発生した諸課題にあると気がつくこともまた多いと言える。1940年代以降の混乱期に、中国知識人がどのような立場で文化活動を行い、状況の変化とともに活動拠点を中国国内やそれ以外の地域に移動し、情報を伝えたかを、様々な角度から考察し、今日的な問題にフィードバックすることが重要となる。

研究成果の概要（英文）：Despite the special circumstances that prevented us from conducting a single field survey due to the Corona disaster, we held regular research meetings in which each co-researcher brought his or her own research theme to present, focusing on Chongqing during the Sino-Japanese War period. We were generally able to keep the pace of twice a year. The topics covered a wide range of topics, including research on anti-Japanese cartoons by Ye Qianyu in the early days of the Sino-Japanese War, popular novels by Xu Xu and Wumingshi, nationalist novels by Wang Pingling and other KMT-affiliated writers, the activities of Lu Ling and others in the Beipei area in the northern suburbs of Chongqing, and introduction of the magazine "Beipei Monthly" published in the area.

研究分野：中国文学

キーワード：重慶 モダニズム文学 日中戦争

### 1. 研究開始当初の背景

中国文学研究者計 6 名が共同で、日中戦争時期中国の首都・重慶における国民政府の民族主義文芸政策と国民党系知識人の文化活動を通じた民族主義文壇の形成と成熟の過程を中心に据えつつ、首都重慶を補完する存在としての周辺の地方都市の役割に注目し、周辺都市との連携と情報伝達を視野に入れた、国民党系知識人の文化活動の動態を俯瞰する研究を行うことを目指し、以下のテーマを設定した。

1.重慶国民政府の文芸政策と地方への伝達経路の可視化、その知識人の創作活動への影響、2.江西省や広西省(当時の呼称)桂林等重慶を取り巻く国民党支配地域における新聞宣伝活動の解明、3.全国的作家組織「文協」系知識人の重慶における活動の再検討、4.連環画・漫画等図像資料を用いた都市文化表象研究と、国民党の宣伝工作による抗日輿論形成の過程を明らかにする。

### 2. 研究の目的

本研究の前身プロジェクトである基盤研究(C)「日中戦争時期重慶における民族主義文壇の成熟と在重慶知識人ネットワーク」(課題番号:25370398、2013-2015)の結果、日中戦争終結後北平(北京)、上海等に帰還した知識人や国民党の台湾移転に随行する形で台湾や香港、東南アジア等に分散することになった国民党系の民族主義知識人の多くが、重慶に集まりそしてまた重慶から各地に分散して行ったという日中戦争時期全体を通じた動態である。彼ら知識人は、日中戦争期の重慶に集結しやがて離散するという大きな流れが浮かび上がった。

そこで、重慶を中心とする都市間ネットワークを形成という視点から、その中でも教育・文化政策の重慶と各地方都市との連携に注目した。従来の研究では、都市文学研究・都市文化研究が蓄積されてきたが、それら先行研究で不足していたと思われるのが、西南聯合大学創設に代表される知識人の内陸移住と都市間移動・都市間交流の調査、そしてその背後にある国民政府の指揮伝達の経路の解明である。

そこで本研究は、臨時首都重慶における民族主義文壇の形成と成熟の過程、そして国民党系知識人たちの周辺諸都市との往還と情報伝達の全体像を俯瞰的に研究することを目標に、文学研究者計 6 名が共同で、重慶における民族主義文壇と抗日輿論の形成という点を中心に据えつつ、「日中戦争時期重慶における民族主義文壇と国民党系知識人の内陸都市間連携」という課題を設定した。

### 3. 研究の方法

当初、共同研究と個人研究の二本立てでの研究計画を立てていた。共同研究は、1.海外(重慶・南昌・南京等)及び国内での資料調査と 2. 研究報告会・資料調査会の開催、3. シンポジウムの開催、4. 報告書の作成、である。

このうち 1 については「研究実施状況報告書」「研究実績報告書」でも再三述べたところだが、コロナ禍という特殊事情によって、一度も開催することができなかった。2 については、個人研究の成果報告という趣旨で、年に 2 回の研究例会を維持することができた。

研究分担者の個人研究の研究課題については、下記の各年度の研究成果を参照されたい。

### 4. 研究成果

#### 2020 (令和 2) 年度

2017 年に始まった旧重慶科研のプロジェクトを継承するものだが、この 2020 年度は、コロナ禍の影響により、渡航が解禁される見込みが立たず、まことにもどかしい思いである。

そのため、各自の個別研究を中心とせざるを得なかった。Zoom によるオンライン研究例会は 2 回開催した。1 回目は 8 月 31 日午後 2 時から、2 回目は年度末の 3 月 29 日午後 1 時から、青島科研との合同で、最近の研究課題を紹介し、質疑応答と情報交換を行った。2 回目の例会では、来年度の活動方針を決定し、今後の研究計画を紹介した。

研究成果としては、科研メンバー全員が参加する中国モダニズム研究会編『夜

の華『中国モダニズム研究論集』(中国文庫、2021年3月)から活動状況を見ることが出来る。

奥野行伸は、重慶で活躍した作家の路翎が戦後朝鮮戦争従軍に至る経緯を整理し、それを踏まえ従軍経験をもとに描いた作品を分析した。城山拓也は、民国時代に活躍した葉浅予のコマ割り漫画「王先生」シリーズの作風の変化を論じた。杉村安幾子は、1940年代、徐訏と並んでラブストーリーを得意とする流行作家であった無名氏の「メロドラマ」の作法を論じた。高橋俊は、いわゆる「人文系不要」論争を中国現代文学研究に敷衍した研究を行った。中村みどりは、劇作家の洪深の青島との関わりを丹念に跡付けた。また中野知洋は、民族主義文壇の中心的な作家であり、文芸政策の責任者張道藩の側近の一人でもあった王平陵が、日中戦争中の重慶で発表した「女優之死」という中篇小説を分析した。

### 2021(令和3)年度

現地調査を実施できない状況が続く中、2021年度は青島科研 21K00333・湘西科研 20K00363 と合同で、9月7日に第1回研究例会を、また3月29日に第2回研究例会をオンラインで開催することができた。第1回研究例会は、もっぱら各メンバーが個別研究の研究成果を報告するものであった。第2回研究例会は、2部に分け、前半が打ち合わせと研究報告で、各メンバーの今年度の総括と来年度の研究計画を報告した。後半はゲストスピーカーによる講演である。

川野明正氏(明治大学)による講演「艾蕪の歩いた道 四川・雲南・ビルマ」を聴講した。1930年代、作家の艾蕪が旅した四川・雲南・ビルマの道程を発表者が撮影した写真を中心にたどったもので、作品に関わる非漢民族(いわゆる「少数民族」)や雲南漢人・ビルマ雲南華人について、漢人旅行者の現地民族との関係や民俗・民間信仰(一例として漢人旅行者の現地民族女性に対する婚姻忌避の観念と民族間呪術の問題)・事物(塩業・旅店・雲南関係各種施設)などのトピックを取り上げて概観・報告されたものである。中国内陸部の重慶研究にとっても大きな収穫があった。

共同研究者の研究成果としては、城山の日中戦争初期における葉浅予の抗日漫画研究、杉村の徐訏「幻覚」を無名氏作品との関わりで見た研究、中村による洪深の映画脚本「劫後桃花」に関する研究発表と、大東亜文学者大会をめぐる内山完造の関わりに関する研究、中野知洋の孫陵『辺声』に見る日中戦争時期の共産主義との接近に関する研究等がある。

### 2022(令和4)年度

2022年9月4・5日、青島科研、湘西科研と合同で、日本女子大学において第1回研究例会を開催した。各メンバーの研究状況を持ち寄り、経過を報告した。テーマは以下の通り。今泉秀人「ミャオ族幻想 沈従文と石啓貴」、奥野行伸「路翎と1945年」、齊藤大紀「劉漢源の旅 その湘西調査実習日記から」、城山拓也「葉浅予の中華民族認識」、杉村安幾子「徐訏「旧神」に見るミソジニー」、高橋俊「中国文学をキャリア教育に結びつける試み」、中野徹「漣漪の海 青島の閩一多と方令孺」、中野知洋「沈従文『泥塗』とその周辺」、中村みどり「青島モダニズムと黄瀛について」。

また2023年3月3日に、これも3日件合同で、北海道大学において第2回研究例会を実施した。吉開将人北海道大学教授による講演会「日中戦争期の湘西における苗族の動向について」を聴講した。清末から民国期にかけて、民国学術史の成立から西南中国民族エリートの民族意識の萌芽、湘西における湘西苗族エリートの覚醒と政治活動という流れを俯瞰することができた。

コロナの影響で進捗が遅れていることから、1年間の延長を申請した。

### 2023(令和5)年度

研究例会は、8月と3月の2回開催した。第1回は8月23日に台北で対面で、また第2回はオンラインで3月28日に、メンバーがそれぞれの研究経過を持ち寄り報告した。

最終年度も引き続き、各メンバーが個別の課題について研究を進めることとなった。主なものを挙げると、奥野は、重慶郊外の北碚で刊行された雑誌『北碚月刊』を調査した。城山は、重慶で活動したこともある漫画家の葉浅予が、中華人民共和国建国前後に中国画に転じたことを論じた。杉村は、予且「浅水姑娘」における不幸を嘆く女性の形象を論じた。高橋は、中国に関するものでは中国における水泳の表象を分析し、「身体をみせること」の問題系を論じたほか、勤務先である高知と文学、またポーの小説など、幅広いテーマに取り組んだ。中村は、久保田万太郎の戦時下上海への訪問と観劇の問題、『改造』「現代支那号」(1926)を通じて見た同時代小説としての中国文学と日本語の問題、内山完造と第三回大東亜文学者大会など、戦争と日中文化交流の問題について研究した。中野知洋

は重慶を経て戦後台湾に渡った王平陵の作品が、1950年代後半に「自由」を強調するようになることを反共文学との関連から論じた。

一見すると重慶から離れたテーマもあるが、いずれも戦前から日中戦争を経て戦後に至る時期に、中国の知識人が時代の変化に対応する様子を捉えたものであり、その舞台の一つとして重慶も関わっている。またいずれも、異文化交流という視点を含むものとなっている。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計32件（うち査読付論文 25件 / うち国際共著 1件 / うちオープンアクセス 1件）

1. 著者名 杉村安幾子	4. 巻 72
2. 論文標題 楊振声「荒島上的故事」における自死する少女	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 日本女子大学文学部紀要	6. 最初と最後の頁 55-66
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋俊	4. 巻 53
2. 論文標題 文学研究における「再現性」 魯迅は再現可能な存在なのか	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 高知大國文	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋俊	4. 巻 23
2. 論文標題 「人文系」専門教育とキャリア教育を架橋する試み セミナールとキャリア科目	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 国際社会文化研究	6. 最初と最後の頁 87-98
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村みどり	4. 巻 なし
2. 論文標題 中国留学生眼中的“日本” 郁達夫「帰航」与英国反日小説『和服』（Kimono）	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 団体与日常 近代中国留日学生的生活史	6. 最初と最後の頁 211-236
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 奥野行伸	4. 巻 増刊号
2. 論文標題 彭德懷	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 野草 中国20世紀自伝回想録解題集	6. 最初と最後の頁 52-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 奥野行伸	4. 巻 増刊号
2. 論文標題 鄭超麟	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 野草 中国20世紀自伝回想録解題集	6. 最初と最後の頁 82-83
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 奥野行伸	4. 巻 増刊号
2. 論文標題 胡風	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 野草 中国20世紀自伝回想録解題集	6. 最初と最後の頁 88-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 奥野行伸	4. 巻 増刊号
2. 論文標題 王明	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 野草 中国20世紀自伝回想録解題集	6. 最初と最後の頁 98-99
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 奥野行伸	4. 巻 増刊号
2. 論文標題 王凡西	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 野草 中国20世紀自伝回想録解題集	6. 最初と最後の頁 118-119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 奥野行伸	4. 巻 増刊号
2. 論文標題 蕭軍	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 野草 中国20世紀自伝回想録解題集	6. 最初と最後の頁 124-125
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 奥野行伸	4. 巻 増刊号
2. 論文標題 舒無	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 野草 中国20世紀自伝回想録解題集	6. 最初と最後の頁 190-191
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 城山拓也	4. 巻 増刊号
2. 論文標題 馬国亮	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 野草 中国20世紀自伝回想録解題集	6. 最初と最後の頁 130-131
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 城山拓也	4. 巻 増刊号
2. 論文標題 葉浅予	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 野草 中国20世紀自伝回想録解題集	6. 最初と最後の頁 120-121
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 城山拓也	4. 巻 増刊号
2. 論文標題 万籟鳴	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 野草 中国20世紀自伝回想録解題集	6. 最初と最後の頁 60-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 城山拓也	4. 巻 増刊号
2. 論文標題 張恨水	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 野草 中国20世紀自伝回想録解題集	6. 最初と最後の頁 36-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中野知洋	4. 巻 増刊号
2. 論文標題 馮友蘭	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 野草 中国20世紀自伝回想録解題集	6. 最初と最後の頁 42-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 中野知洋	4. 巻 増刊号
2. 論文標題 周一良	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 野草 中国20世紀自伝回想録解題集	6. 最初と最後の頁 146-147
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中野知洋	4. 巻 増刊号
2. 論文標題 楊寬	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 野草 中国20世紀自伝回想録解題集	6. 最初と最後の頁 152-153
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 城山拓也	4. 巻 10
2. 論文標題 日中戦争初期における葉浅予の抗日漫画	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 連環画研究	6. 最初と最後の頁 2-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉村安幾子	4. 巻 71
2. 論文標題 徐Xu「幻覚」試論 無名氏作品との関わりで見る感傷に浸る男たち・葬り去られる女たち	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本女子大学文学部紀要	6. 最初と最後の頁 95-106
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村みどり	4. 巻 76
2. 論文標題 大東亜文学者大会をめぐる交渉の力学 内山完造の関わりと二本建論	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 人文学研究所報	6. 最初と最後の頁 271-282
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中村翠 (中村みどり)	4. 巻 なし
2. 論文標題 蝴蝶夫人 : 从好莱坞電到施蛰存与穆时英的小説	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本漢学中的上海文学研究	6. 最初と最後の頁 180-200
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 中野知洋	4. 巻 16
2. 論文標題 抗戦と移動 孫陵『辺声』の東北	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本アジア言語文化研究	6. 最初と最後の頁 17-44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉村安幾子	4. 巻 なし
2. 論文標題 無名氏『塔裡的女人』論 逆照射される男性性失墜の物語	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 夜の華 中国モダニズム研究論集	6. 最初と最後の頁 232-255
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉村安幾子	4. 巻 なし
2. 論文標題 錢鍾書と呉Mi	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 文学の力、語りの挑戦 中国近現代文学論集	6. 最初と最後の頁 87-110
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉村安幾子	4. 巻 第40号
2. 論文標題 「美貌」というスティグマ 徐Xu『風蕭蕭』における美女表象	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 お茶の水女子大学中国文学会報	6. 最初と最後の頁 27-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 奥野行伸	4. 巻 なし
2. 論文標題 路Ling「窪地上的『戦役』」と朝鮮戦争従軍	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 夜の華 中国モダニズム研究論集	6. 最初と最後の頁 318-345
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 城山拓也	4. 巻 なし
2. 論文標題 諷刺とユーモア 「小陳旅京記」と「留京外史」について	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 夜の華 中国モダニズム研究論集	6. 最初と最後の頁 202-231
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 城山拓也	4. 巻 61
2. 論文標題 梅干菜の入った餅	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 TONGXUE	6. 最初と最後の頁 14-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋俊	4. 巻 なし
2. 論文標題 「パパ、中国現代文学研究は何の役に立つの？」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 夜の華 中国モダニズム研究論集	6. 最初と最後の頁 404-428
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村みどり	4. 巻 なし
2. 論文標題 青島興亡をめぐる民族意識と父の記憶 洪深 映画脚本「劫後桃花」を中心に	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 夜の華 中国モダニズム研究論集	6. 最初と最後の頁 148-173
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中野知洋	4. 巻 なし
2. 論文標題 重慶時期王平陵の民族主義小説 「女優之死」を中心に	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 夜の華 中国モダニズム研究論集	6. 最初と最後の頁 256-287
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計8件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 2件）

1. 発表者名 奥野行伸
2. 発表標題 路Lingと雑誌『希望』について
3. 学会等名 佛教大学中国言語文化研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 城山拓也
2. 発表標題 1940、50年代における葉浅予の中華民族認識
3. 学会等名 建国初期中国を移動する身体メディア・プロパガンダ第2回ワークショップ
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 杉村安幾子
2. 発表標題 語らぬ少女の語るもの 楊振声「搶親」と『独立評論』
3. 学会等名 国際シンポジウム「吼えるアジア：東アジアのプロレタリア文学・芸術とその文化移転1920-30年代」（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中村みどり
2. 発表標題 モダニズムとしてのプロレタリア芸術運動と村山知義 築地小劇場から上海芸術劇社へ
3. 学会等名 国際シンポジウム「吼えるアジア：東アジアのプロレタリア文学・芸術とその文化移転1920-30年代」（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中村みどり
2. 発表標題 「杜子春」「山月記」の外へ 日中近代における交錯する眼差し
3. 学会等名 早稲田大学教育総合研究所研究部会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 城山拓也
2. 発表標題 中国漫画言説の系譜
3. 学会等名 第69回東北中国学会大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 中村みどり
2. 発表標題 洪深の映画脚本「劫後桃花」 1930年代文学の多様性
3. 学会等名 中国現代演劇研究会第27回研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 城山拓也
2. 発表標題 現代中国の作家と新型コロナウイルス 方方『武漢日記』を読む
3. 学会等名 連続公開講座「大人の教養倶楽部」 「ウィズ(with)コロナの時代」における新たな学び
4. 発表年 2020年

## 〔図書〕 計4件

1. 著者名 城山 拓也	4. 発行年 2023年
2. 出版社 関西学院大学出版会	5. 総ページ数 384
3. 書名 中国漫画のモダニズム	

1. 著者名 王晴篇	4. 発行年 2021年
2. 出版社 上海遠東出版社	5. 総ページ数 420
3. 書名 日本漢学中的上海文学研究	

1. 著者名 武田 雅哉、加部 勇一郎、田村 容子	4. 発行年 2022年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 266
3. 書名 中国文学をつまみ食い	

1. 著者名 中国モダニズム研究会	4. 発行年 2021年
2. 出版社 中国文庫	5. 総ページ数 450
3. 書名 夜の華 中国モダニズム研究論集	

## 〔産業財産権〕

## 〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	中村 みどり  (Nakamura Midori)  (30434351)	早稲田大学・商学大学院・教授    (32689)	
研究分担者	高橋 俊  (Takahashi Shun)  (10380297)	高知大学・教育研究部人文社会科学系人文社会科学部門・教授    (16401)	
研究分担者	杉村 安幾子  (Sugimura Akiko)  (50334793)	日本女子大学・文学部・教授    (32670)	
研究分担者	城山 拓也  (Shiroyama Takuya)  (60749109)	東北学院大学・教養学部・准教授    (31302)	
研究分担者	奥野 行伸  (Okuno Yukinobu)  (00868028)	佛教大学・公私立大学の部局等・非常勤講師    (34314)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関